

清高著 愛子 詩集は素心館に  
あがり 葛謝いんしあす  
早稲通法社 読いんしあす 若  
くして 逝ける 才媛の 光輝の  
一瞬にして 消失せる 現世の 無情  
にまことに 痛恨限りなく いかし  
大見の 綾織の 詩情に 涙なきも  
得ません

詩と起えこ 心そのものを表現しん  
清い心は 永く 後世に残るものと信じ  
ます

限りなきいのちは此処に 年毎に

面影に 笑く 白梅の花

五月十七日

白鳥省吾

井上康文様

五月十七日

千代お市小仲台町

ハセセ

白鳥省吾